

千葉県産木質プラスチック製玩具の“エコプロダクツ大賞”受賞について

平成19年12月

千葉県環境生活部資源循環推進課

バイオマスプロジェクトチーム

電話 043-223-2682

千葉県のサンプスギ（間伐材、製材残材等）を主原料とする“千葉県産木質プラスチック”を素材に利用したカプセル玩具が、「第4回エコプロダクツ大賞（農林水産大臣賞）」を受賞しました。

この製品は、地域で発生する木質バイオマスの製品開発を推進している「千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト」において共同研究しているバイオマスプラスチックを素材に利用した製品として、(株)バンダイが平成19年6月に販売したものです。

1 第4回エコプロダクツ大賞受賞の概要

農林水産大臣賞を受賞した(株)バンダイの玩具「アースカプセル昆虫採集(R)」は、カプセルとフィギュア（昆虫プラモデル）に千葉県産のサンプスギ（間伐材、製材残材等）を主原料とする“千葉県産木質プラスチック”を素材（カプセルには木部、プラモデルには樹皮を主原料）に利用したものです。

また、今回の受賞は地域に存在するバイオマス資源を積極的に利用していることや、子どもに特に人気のある昆虫の模型へのバイオマス利用を実現したことで、子供たちが環境問題などを考えるきっかけにもなり得る点が高く評価されました。

エコプロダクツ大賞「エコプロダクツ部門」

農林水産大臣賞 「ガシャポン アースカプセル昆虫採集」 (株)バンダイ

エコプロダクツ大賞は、環境負荷の低減に配慮した最もすぐれた製品・サービス（エコプロダクツ）を表彰することを目的として、2004年に創設されたものです。この活動は、エコプロダクツ大賞推進協議会（（財）地球・人間環境フォーラム等4団体で構成）が主催しており、農林水産省ほか5省の後援により推進されています。

－ 農林水産大臣賞「ガシャポン(R) アースカプセル(R) 昆虫採集」－



2 受賞製品と千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト（以下、「新用途開発プロジェクト」という。）との関係

㈱バンダイの受賞製品につながった木質プラスチックの原型プラモデル（カブトムシ）は、本県が主催する新用途開発プロジェクトに参画する民間企業（㈱エムアイシー、㈱シー・ピー・トムズ、㈱佼和テクノスなど）や山武市の協力によって、“サンブスギ”を主原料とする木質プラスチックを素材に用いて製造されたものです。

また、本県や山武市ではこの木質プラスチック製カブトムシプラモデル等を啓発用品として平成18年度から採用しており、各種イベントや環境学習などで利用しています。

◇ 県がバイオマス啓発用品として採用している開発商品

「うちわべら（持ち手：竹・サンブスギ製）」 「バイオマス・トイ（カブトムシ：サンブスギ樹皮製）」



（製作：㈱佼和テクノス）



（製作：㈱シー・ピー・トムズ）

（参考）

新用途開発プロジェクトによる“千葉県産木質プラスチック”の推進

「農林系バイオマスを原料とする木質プラスチック生産による地域資源循環モデルの構築」

本県では、平成16年度に設立した新用途開発プロジェクトに木質プラスチック部会を設置（平成19年度）し、山武市で展開される木質プラスチック事業を中核とする産学官連携による共同研究を進めており、木質バイオマス（林地残材、被害材、竹材、せん定枝等）を主原料とする“千葉県産木質プラスチック”の製品開発や普及啓発活動などに取り組んでいます。

特に、地域資源である“サンブスギ”など農林系バイオマス由来の木質プラスチックによる製品開発を促進して、化石由来プラスチックを代替するバイオマスプラスチックの地産地消を実現することで、持続可能な地域資源循環システムのモデル構築を目指しています。

（木質プラスチック部会の主な構成員）

木質プラスチック製造（㈱佼和テクノス、バイオマスプラスチック化技術開発会社：㈱エムアンドエフ・テクノロジー）、木質プラスチック製品化・成形（㈱エムアイシー、吉山プラスチック工業（㈱ほか）、大学（千葉工業大学工学部、千葉大学園芸学部）、（独）森林総合研究所、千葉県森林組合連合会、（財）千葉県産業振興センター、山武市、千葉県（環境生活部資源循環推進課バイオマスプロジェクトチーム、産業支援技術研究所、森林研究センター、農業総合研究センターほか）